

九月定例会で同意した人事案件

九月定例会では、左記の三件の人事案件への同意が求められ、同意、推薦決定されました。

情報公開・個人情報保護審査委員の選任について

苦田郡鏡野町古川八八九番地一 飯綱浩二

津山市加茂町公郷一九一四番地二 志水 昇

岡山市北区幸町一〇番五〇号 築島 尚

津山市北園町三番地一四 長谷川勝一

津山市野村二九〇番地 保田佳子

固定資産評価審査委員の選任について

津山市坪井上七九二番地 小福田茂利

人権擁護委員候補者の推薦について

津山市吹屋町七番地 岡本輝昭

第十二回「森林を考える岡山県民のつどい」が十月二十二日にグリーンヒルズ津山で開催されました



津山ご当地アイドル「Sakulove」によるオープニングに始まり、鳥取環境大学副学長 東樋口護氏により「持続可能な森林」〜国際森林年によって〜と題した基調講演が行われました。また、苗木の無料配布、親子ふれあいコーナー、特産品の販売もあり、たくさんの方の出でにぎわいました。

議員の報酬など考えてみてください ②

五十九号で紹介しました「議会費」についてのお知らせと市民の皆さんにご意見をお願いしたところ、三人の方から意見が寄せられました。ありがとうございます。

五十九号でお知らせできなかったものを紹介します。

※議員の期末手当↓年間三・六カ月です。(夏が一・七五カ月、年末が一・八五カ月)

※議会費全体の予算は約四億九千万円です。議員に必要な経費・事務局職員の人件費、そして、会議録作製費、議会だより発刊費、議長交際費など議会の必要経費となります。

※ご意見等お寄せいただく場合は、「住所、氏名は必ずご記入」ください。議会だよりに掲載する場合は、「匿名」にさせていただきます。

表紙写真の説明

今回は、勝北風の子こども園、清泉幼稚園、成名幼稚園に撮影に行きました。

勝北風の子こども園に通園している園児(児童)は、二百一人です。今回は四、五歳児(百十三人)を撮影させていただきました。保育目標は「生き生きとした子どもをめざして」「元氣よくともだちと仲良くあそべる子ども」です。

清泉幼稚園に通園している園児(児童)は、十三人です。教育目標は「心豊かで、たくましい子どもを育てる」で、「いろいろな体験や身近な自然、人々とのふれあいを通じて、豊かな心情や感性を培う」ことを指導の重点とされています。

成名幼稚園に通園している園児(児童)は、四十三人です。教育目標は「のびのびと主体的に生活する子どもを育てる」で、「様々な体験を通して、豊かな心を育てる」ことを指導の重点とされています。

※園名は合成写真です。

編集後記



この議会広報の編集作業は、広報委員八人と議会事務局担当二人が共同した中で進めており、記事の抽出、原稿作成、写真撮影などを広報委員が主体となつての編集であります。一般質問の内容については、議員自らが責任をもって編集、読みやすい、分かりやすい、市民の皆様と議会を結ぶ広報紙として発行する姿勢は、議員全員が共通のものであります。

中でも編集については、定例会ごとに委員会を数回開催し、限られた紙面の中で、議員がつくる読みやすくまた、読みたくなるような議会だよりを基本として、議会広報の発行に向け、研究と努力をしております。このたびは、視点を変えて新たな角度から写真を一部掲載してみました。今後とも続けての愛読をお願いいたします。

本市の行政サービスに対する市民の満足度はどうだろうか。昔の頃は色々聞かぬが、何年か一度は正式アンケート調査が必要では、広報だけでなく広報が大事だと思えます。

自然災害、ユーロ諸国の財政悪化に端を発した世界経済の低迷、そして、いまだに続く、テロ、内戦、それによる飢饉、貧困。それらは全人類、地球号の永遠の課題です。

今、議会改革と活性化が叫ばれています。津山市も九月定例会より本会議が生中継されています。投票した議員の発言を注視することが有権者の義務ではないでしょうか。

広報調査特別委員会メンバー

- ◎末永弘之 ○田口慎一郎
岡田康弘、 黒見節子、 竹内靖人
野村昌平、 原 行則、 吉田耕造